

1年3組 学級活動 学習指導案

期 日： 令和3年9月15日（水） 第5校時

場 所： 1年3組教室

1. 題材名 SNS を介したコミュニケーションにおけるリスク予想

2. 題材設定の理由

(1) 題材観

「青少年のネット利用実態把握を目的とした調査 平成 29 年度最終報告書」によれば、「ネットでされたら嫌だと感じる事」について、最も多かったのが「噂を広められること」で 15%に達する。以下、「入っていないグループ内で自分の悪口を言われる (12%)」「写真を勝手に使われる (11%)」「LINE 上で自分の知られたくない情報が流される (10%)」「グループ内で自分の悪口を言われる (8%)」と続く。これらの行為は、「この発信をしたら、相手がどのような気持ちになるだろうか」、または、「どのような意味で受け取るだろうか」というリスクを予想していない、あるいは、予想できていないことが原因の一つと考えられる。

また、テキストによるコミュニケーションの場合、感情が伝わりにくく、発信に対する誤解が生じやすいことを十分に理解できていないことも原因と考えられる。

以上のことから、SNS を介したコミュニケーションにおけるリスクを予想させ、トラブルを未然に防止するための力を身に付けさせることは重要であると考えられる。

(2) 生徒観

(略)

(3) 指導観

全国平均よりも長い時間にわたってゲーム・SNS 等を行っていることから、それに伴うトラブルに巻き込まれる危険性がある。本時の授業では、SNS 利用時のトラブルを避けるために、コミュニケーションにおいて、どのような発信から気持ちのずれが生じるのかを予想させる活動を行う。そして、お互いの予想結果やなぜそう考えたのか理由を交流することによって、自分と他者との考え方の違いに気付かせたい。その上で、トラブルが生じないように SNS を利用するにはどうすれば良いのかを考えさせ、今後の生活に役立てさせていきたい。

3. 本時のねらい

- コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性や自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。（人間関係形成・社会形成能力）
- ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを相手に伝える方法について考えることができる。（課題対応能力）

4. 指導過程

	学習活動・内容	時間・形態	指導上の留意点（◎手立て ◇評価）
導 入	1 グループトークと個人トークの事例を比較し、どちらがトラブルの起きるリスクが高いかを考える。	5・個別 ペア	◎最初は個人で考えさせた後、ペアで意見を交換させる。 ◎数名に発表させ、全体で共有する。
	2 本時の課題を確認する。 「リスクを見積もる力」を身に付けよう。	一斉	
展 開	3 トークの内容から、その後どのような展開になるのかを予想する。 (1) 2組クラスのトーク (2) 2組元・南小のトーク (3) 陸上部1年生のトーク	15・個別 グループ	◎最初は個人で考えさせ、カードをワークシート上に置かせる。 ◎その後、3～4人のグループで話し合わせる。 ◇自分と他者とのリスク予想の違いに気付くことができたか。（発言）
	4 判断の根拠を共有する。 (1) 2組クラスのトーク (2) 2組元・南小のトーク (3) 陸上部1年生のトーク	20・個別 グループ	◎判断の根拠となった発信に印を付けさせ、なぜそう考えたのか、理由を書かせる。 ◎3～4人のグループで意見を交流させる。
	5 「こんなつもりじゃなかったのにならならないためにどうすれば良いかを考える。	5・個別 一斉	◎リスクを避けるためにどのように発信したら良いか、ワークシートに考えを記入させる。 ◇リスクを回避しながら、自分の考えや気持ちを相手に伝える方法を考えることができたか。（ワークシート）
終 末	6 本時のまとめをする。	5・個別	◎授業を通して学んだことをワークシートに記入させる。

5. 主な参考文献等

ネット利用診断サービス <https://www.netmoral.net/>

LINE みらい財団 HP <https://line-mirai.org/ja/>

「SNS ノート 情報モラル編」・「同 活用の手引き」 LINE 株式会社 公共政策室

資料 Teams のアンケート機能を使って、生徒の意見を集約

① アンケート画面



② 生徒の意見が集約された画面



3年1組 道徳科 学習指導案

期 日： 令和3年11月22日(月) 第5校時

場 所： 3年1組教室

1. 題材名 情報を発信するときの責任

2. 題材設定の理由

(1)題材観

ネットで情報を発信する時は、その情報が正しい情報かを確認した上で発信する必要がある。また情報を発信する者は、自分が発信した情報によって誰かに不利益が生じないかも考慮した上で発信しなければならない。しかし、ネットや SNS を利用する人の多くは、そうした責任を考えずに、思ったままの言葉を書き込んだり、興味のある内容の真偽を確かめることなくリツイートしたりしてしまうことがある。ネットの普及によって簡単に情報を取得、共有できるようになったからこそ、その正しい使い方を考えさせるのに適した題材である。

(2)生徒観

(略)

(3)指導観

これまでもネットマナーについて学習したことがあるため、知識は持っているはずであるが、それを活用できるかは不明である。ネットや SNS 等での情報発信で起こり得るトラブルの場면을提示し、これまでの学習を生かしながら、主体的に考えさせる。特に、携帯を所持している生徒は自身が使っている SNS サービス上で情報を得るのみならず、それを友人と共有することによって拡散する行動をとってしまう場面も見受けられる。自身の行っている行動が他者を傷つけたり、最悪犯罪になったりしてしまう恐れがあることを話し合い活動で気付かせたい。さらに、ネットに流布する二次情報を鵜呑みにしてしまい、情報に惑わされる姿は、日常生活のリアルのコミュニケーションでも起こり得ることなので、最終的に自身の生き方を振り返る契機とさせたい。

3. 本時のねらい

- 話し合いを通して、発信した情報が多くの人に影響を及ぼすことや、発信した情報には責任が伴うことなどに気付くことができる。(情報モラル・セキュリティなどについての理解)
- 発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を踏まえ、行動しようとする態度を養う。(情報モラル・セキュリティなどについての態度)

4. 指導過程

	学習活動・内容	時間・形態	指導上の留意点(◎手立て ◇評価)
導入	<p>1 ネットやSNS利用に関する質問に答える。(3問)</p> <p>問1 あなたはこれまでに SNS(ライン・フェイスブック・ツイッター・インスタグラム等)を使ったことがあるか？</p> <p>問2 あなたは上記 SNS や YouTube、ニコニコ動画をはじめとしたコメントを書き込めるサイトでいやな気分になるコメントをみたことがあるか？</p> <p>問3 次の場面を想像して「書き込む」か「書き込まない」かで答えなさい。</p> <p>家にいる時に突然、立ってられないほどの地震が発生した。地震が収まった後、状況を確認しようと SNS(もしくはネット掲示板)を見たら匿名で「〇〇町(あなたがいる町)はどのような様子か？」という書き込みを見つけた。周囲の建物を見ると、ひびが入っていたり、橋が崩れていたりするところを見つけた。あなたは、この状況を書き込みますか？</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <p>「情報を発信するときの責任」について考えよう。</p>	<p>8</p> <p>・個別</p> <p>・ペア</p> <p>・一斉</p>	<p>◎最初は個人で考えさせた後、ペアで意見を交換させる。(タブレット)</p>
展開	<p>3 東日本大震災の概要</p> <p>4 情報に惑わされる姿 その1 「放射線という未知の物質」について考える</p> <p>問 身の回りの安全が確保され始めた頃、他県に引っ越した友人からこのようなサイトを見つけたと、リンクが送られてきました。中をのぞくと「福島の人間に近づくと被ばくする。」「福島県のナンバープレートをつけた車がいるんだが？」という言葉があった。あなたはこの書き込みに対し、どのような対応をとりま</p>	<p>5</p> <p>・一斉</p> <p>13</p> <p>・個別</p> <p>グループ</p> <p>・全体</p>	<p>教師の体験談をもとに、当時の状況を振り返る。</p> <p>◎全体で意見を交流させる。</p> <p>◎生活班で話し合わせた後、全体で意見を交流させる。</p>

	<p>すか？また、そのような対応をする理由も書きなさい。</p> <p>(1)自分の意見を考える (2)意見の交流をする (3)どのような対応がよりよいかを各班で考え、発表する。</p> <p>5 惑わされる姿 その2 「福島県産の食べ物」 について考える</p> <p>問 震災から2年が経過したある日、農家を営む親戚のおじさんがこんな相談をしてきた。「今は福島県産を怖がる人が増えて出荷数が減った。もしできるなら、ネットで宣伝をしてもらうことはできないか？」あなたなら、この後、どのような対応をするか？SNS 等で宣伝をするかしないかを明らかにして、その理由も含めて答えなさい。</p> <p>(1)自分の意見を考える (2)意見の交流をする (3)どのような対応をすることがよりよいかを各班で考え、発表する。</p>	<p>13</p> <p>・個別 グループ ・全体</p>	<p>◎問題を提示した後、出荷数が減ってしまうことになった当時の状況を、資料等を用いて解説する。</p> <p>◎一次情報の大切さに気付かせる。</p> <p>◇発信した情報が多くの人に影響を及ぼすことや、発信した情報には責任が伴うことなどに気付くことができたか。(発表、観察)</p>
<p>終末</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 感想を書き、以下の課題に取り組む 惑わされる姿 その3 日常生活[被害者・加害者の立場]</p> <p>問 あなたは放課後、学校から帰ろうとしたところ A さんから「あなたのことを同じ組の B くんがバカにしているような書き込みを見つけたよ」と声をかけてきた。あなたなら、どのように対応しますか？</p>	<p>4・全体</p> <p>7・個別</p>	<p>◎授業を通して学んだことをワークシートに記入させる。</p> <p>◇発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を踏まえ、行動しようとしているか。 (ワークシート)</p>

5. 主な参考文献等

『だれもが実践できるネットモラル・セキュリティ』堀田龍也・西田光昭編著 三省堂

『事例で学ぶ Net モラル』広島教販